

つちやんのミニネタコーナー

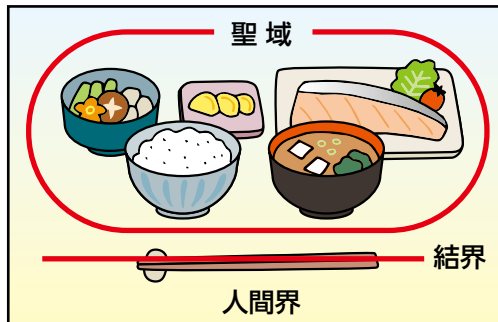


イラスト | 吉田朋子

ミニネタ
No.50

「お箸の向き」の意味を教える

給食の時間、子どもたちに次のように問いかけます。

「日本では、なぜお箸を横向きに置くのか、知っていますか？」

実は、洋食も中華も、スプーンやフォーク、蓮華などといった、口に運ぶための道具は全て「縦向きに」置きます。

しかし和食は「横向き」に置くのです。

これには意味があります。

和食では、箸を置く場所は「結界」なのです。

つまり、箸をへだてて向こう側(料理が置いてある側)は、生命のやり取りを行う神聖な場であり、箸よりも手前(食べる人が座る側)は俗界、つまり日常の世界という意味を持っているのです。いわば、お箸は、神社の鳥居と同じ意味合いを持っているのですね。

そして子どもたちに、次のように話します。

「皆さんは神社に行ったことあるよね。入るときは一礼し、礼儀正しく参拝して静かに過ごすでしょう。そして、出るときにも一礼して、感謝の気持ちを表すはずです。食事も同じなんだよ。さあ、姿勢を正そう。感謝していただきますをしましょうね」

子どもたちの声も姿勢も変わるはずです。